



## I 本校が目指す姿

### 1 学校の現状や課題

本校は「男鹿に学んで世界に羽ばたく生徒の育成」を教育目標に掲げた県内唯一の水産科を有した総合制高校です。この教育目標には、男鹿という地で学んだ知識や技術を基に、男鹿の海とつながっている海岸線をもつ世界約160カ国で活躍できる社会人に成長してほしいという願いが込められています。

本校の抱える課題の一つとして、入学者数の減少があります。在校生の約7割を占めている男鹿潟上南秋地区の中学校卒業者数は、この先10年間で約12%の減となることが予想されています。このような状況から、当地区において質の高い高等学校教育を維持するために、令和11年4月男鹿工業高校との統合が予定されており、新設される統合校では、ここでしか学ぶことができないカリキュラムを編成し、魅力ある学校づくりを進めてまいります。

本校は令和6年4月、民間の訓練施設を県立学校に併設するという日本初の試みの実現し、世界標準の安全性と技術の提供を目的とした、洋上風力発電向け訓練センター「風と海の学校 あきた」が本校の校舎内に開所いたしました。本年度からは、シミュレーターを授業で活用するなど、洋上風力発電事業を支える学びが本格的に始まります。

さらに、地域・教育魅力化プラットフォームが主催する国内進学プログラムである「地域みらい留学」に参加しており、県内外から本校に集まった生徒たちが、互いに切磋琢磨しながら、学業やスポーツに励む姿も本校の大きな特色となっております。

今後も統合に向けて、産学官連携による先端技術に対応した特色ある教育活動を展開し、洋上風力発電事業をはじめとした地域産業に貢献する人材を育成する学校として、県内はもとより、全国からも高い志をもった生徒が集まる魅力ある学校となるよう、教育活動を展開する必要があります。

## 2 目指す学校像

男鹿に学んで世界に羽ばたく生徒を育成する学校

## 3 スクール・ポリシー

### (1) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

#### 共 通

地域に根ざした特色ある教育活動を通して、地域に貢献できる生徒を育てます。

#### 普通科

豊かな人間性を備え、地域の発展に寄与する創造的な生徒を育てます。

#### 水産科

豊かな人間性を備え、地域産業に貢献する実践的な生徒を育てます。

### (2) カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

#### 共 通

近隣の教育・研究機関や産業界と連携し、探究的・体験的な学習活動を通して、思考力・表現力・創造力など、課題解決のための実践的な学習を行います。

#### 普通科

自己のキャリア形成を意識した幅広い教養を身に付ける学習を行います。

#### 水産科

水産に関する専門的かつ高度な知識・技術を身に付ける学習を行います。

### (3) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

#### 共 通

社会貢献意欲にあふれ、地域の課題に関心をもち、粘り強く探究活動に取り組む意欲のある生徒を求めています。

#### 普通科

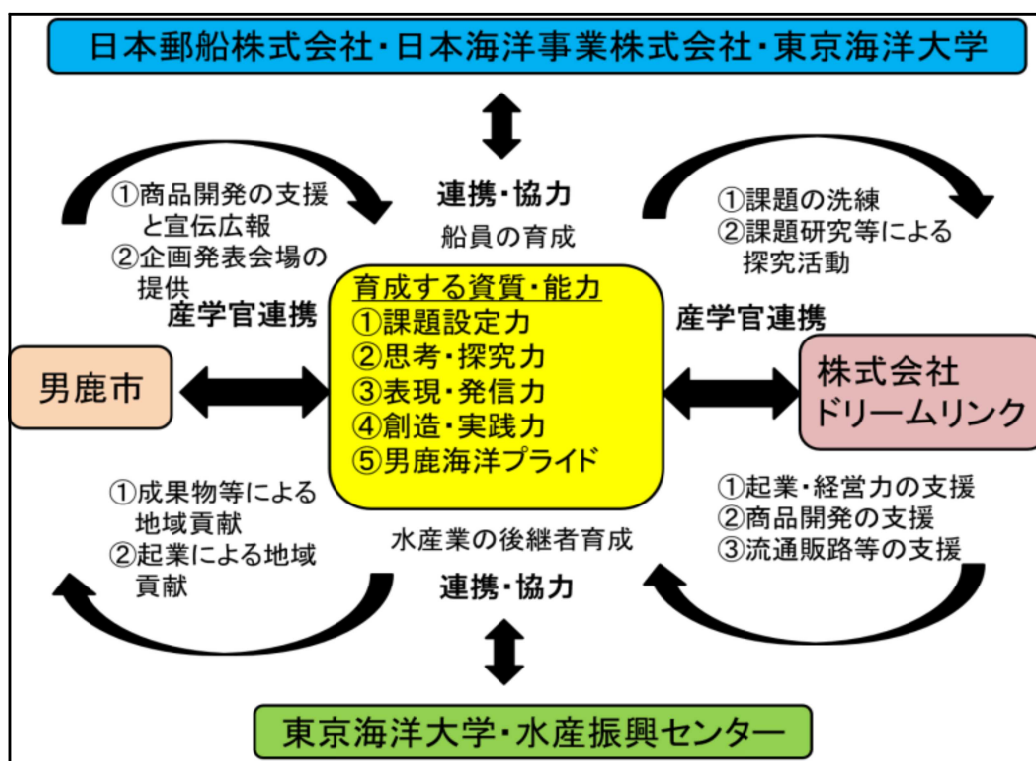
基礎的な学力を身に付け、進路実現を目指して各教科の学習や資格取得に取り組む意欲のある生徒を求めています。

#### 水産科

水産に関する専門的な知識と高度な技術を身に付け、実習や課題研究に取り組む意欲のある生徒を求めています。

## Ⅱ 5年間を通しての目標と取組

- 1 生涯にわたって学び続ける力を育成する。  
ICT環境等の活用により個別最適な学びになるよう授業改善に取り組む。
- 2 進路実現のため、各種資格取得に積極的に挑戦する態度を育成する。  
対策講座を充実させることで、資格取得を支援する。
- 3 地域産業に貢献できる人材を育成する。  
知的財産権に関する学習や男鹿地域産学官連携プロジェクトを一層推進する。
- 4 グリーンビジネス産業で活躍できる人材を育成する。  
大手海運会社等と連携・協力して、実践的なカリキュラムを編成する。
- 5 望ましい勤労観や職業観を育成する。  
長期インターンシップ等を取り入れ、地元企業への理解を深める。
- 6 生徒が主体的に活躍できる場を設定する。  
学校と地域・企業が連携・支援して、生徒会や部活動、各種コンテストなどに積極的に参加させる。
- 7 地域への誇りと愛着を深める。  
地域の行事やボランティア活動に積極的に参加させる。



令和3年6月作成

令和5年6月一部改訂

令和7年4月一部改訂